

# 公共施設のあり方に関する提言書

公共施設のあり方等調査特別委員会

## 公共施設のあり方に関する提言書

本市の公共施設は戦後から高度経済成長期にかけて多数整備されたものの、現在その7割近くが建設後30年を経過しており老朽化が著しい。今後、大規模な改修や建替えを余儀なくされることは明白であり、それらの施設の更新は喫緊の課題である。

「公共施設等の健全経営について」及び「広域連携について」の調査を付託された本特別委員会では、施設の現状把握をすべく、清掃センターや斎場等のみどり市と共同事業を実施している施設、また現在未利用となっている旧松立寮、旧群馬地方発明センターをはじめとした市有施設についてつぶさに視察を行った。

そのような中、本市では建物の基本方針として2051年度までの今後約30年の間に延床面積を45%縮減する「桐生市公共施設等総合管理計画」に基づく各施設等の個別計画を策定中ではあるが、過日の特別委員会において令和2年度中の策定が極めて難しい状況であることが明らかとなった。

しかし、近年の自然災害が多発している状況等を鑑み、延命化により施設の耐用年数の延伸が図れた施設を除き、老朽化した施設については今後の方針を定め、一刻も早く取り掛からなければならない。

については、利用需要及び市民ニーズ並びに本市の財政状況を的確に捉え、行政サービスの低下を招くことのない対応を下記に示したとおり図っていただきたい。

### 記

- 1 桐生市公共施設等総合管理計画の個別計画の策定に当たっては、各施設の利用方法についても十分精査し、市民意見を十分に反映させ対応を図ること
- 2 『「共同事業実施に関する覚書」の内容を見直すための協議の場の設置を要望する決議』を早期に実現すると共に、今後の施設のあり方について議論を深めること

令和3年2月5日

### 公共施設のあり方等調査特別委員会

委員長	人見 武男	副委員長	山之内 肇
委員	渡辺 恒	委員	久保田裕一
委員	佐藤 光好	委員	北川 久人
委員	新井 達夫	委員	福島 賢一